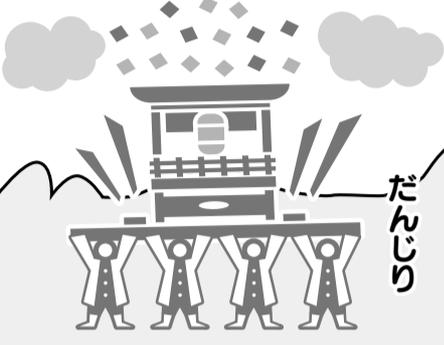


# たからみがきのまちづくりとは？

松山には、築城410年の松山城や、国の重要文化財である道後温泉本館をはじめとした全国に誇れる宝がたくさんあります。これらの宝を磨いていくことを、まちづくりの重点的な取り組みとして「たからみがき」の6文字に集約しています。



**た 旅の魅力**  
 観光戦略のテーマである「瀬戸内・松山構想」。瀬戸内海を「隔てる海」ではなく、「繋ぐ海道」と捉え、広島地域の資源と松山の資源を組み合わせ、磨き上げる新たな観光振興策「瀬戸内・松山ツーリズム」は、山陽と松山・四国エリアが一丸となった地域振興・発展のきっかけとなっています。



高縄山頂から望む北条地域

**か 風早レトロタウン構想**  
 「昭和のにぎわいを求めて」をテーマとする、「風早レトロタウン構想」は、北条の誇る地域資源である鹿島、JR北条駅前通りを中核エリアとした活性化と地域が抱える課題解決に向けた取り組みを進め、一人一人が笑顔で暮らせる活気あるまちを目指します。



鹿島

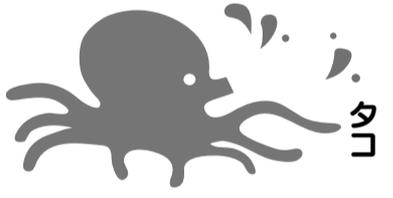


**ら 愛ランド里島構想**  
 「暮らしやすい島、市民の第二のふるさと〜あるがままの心地よさ〜」をコンセプトとした「愛ランド里島構想」は、海上交通の利便性の向上や災害に対する安全性の確保、定住の促進など様々な課題解決に取り組み、今後10年間にわたる島しょ部の活力再生や持続的発展を目指します。

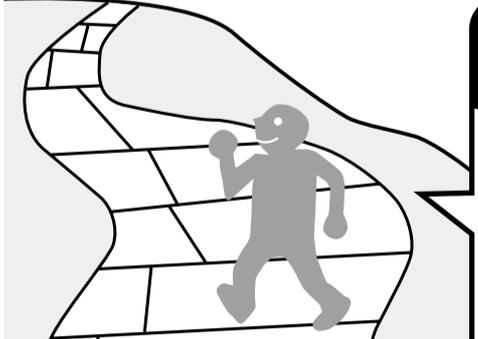


大正初期の三津の朝市

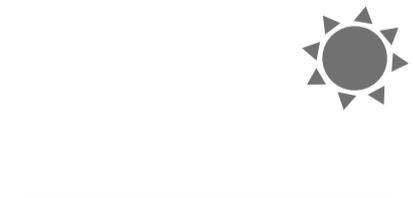
**み 三津の朝市の活性化**  
 伊予節で「道後の湯」と並んでうたわれるほどの名物で市民の台所として親しまれてきた三津の朝市。今後は三津浜地区活性化の拠点として地域と共に、市民や観光客が集い、にぎわい、人・物・情報の多様な交流機会が創出できる場づくりを目指します。



タ



**が 街路整備**  
 街路整備の中で、特に花園町通りの整備に力を入れたいと思います。松山城や城山公園の景観を望むことができる、市民の宝ともいえるこの通りを社会実験として車道を減少させ、生み出された空間を歩行者・自転車といった「遅い交通」や芝生広場などに配分し、風情ある道路空間を創出しました。将来的には、この通りが「歩いて暮らせるまち松山」のシンボルロードになることを目指します。



**き 気持ち～前向きな気持ち～**  
 まちづくりを進める上で大切なことは、まち（松山）に愛着や誇り、前向きな気持ちを持つこと。例えば雨が少ないことを日照時間が長いと捉え、太陽エネルギーを活用した「松山サンシャインプロジェクト事業」の展開。このように前向きな発想からいろいろなものが生まれます。

**前向きな発想の一例**  
**「サンシャインプロジェクト事業」**  
**[少雨→日照時間が長い]**

導入をすすめている太陽光発電システム

サンシャインレウス松山

片側1車線化の交通社会実験を行った花園町通り